

教科(科目)	家庭総合	単位数	2単位	年次	2年次
	必履修	必選択	総合選択	自由選択	
使用教科書	「家庭総合」(実教出版株式会社)				
副教材等	「家庭総合 学習ノート」(実教出版株式会社) 「家庭科55デジタル+」(教育図書)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③人文・自然科学系列、福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の4系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

子どもの発達や福祉、食生活、住生活などに関する知識と技術を総合的に学び、生活課題を主体的に解決する力を身につけることを目指す。また、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 指導の重点

- ① 基本的な生活力を育成するため、身近な事例を題材として取り上げる。
- ② 教材の有効活用、実習の導入など、生徒の興味・関心を引き出し意欲的な取組を目指す。
- ③ 現状の生活課題などを自ら発見し、解決していく態度を育てる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯と子どもについて、生活を主体的に営むための食生活や住生活などに関する知識・技術を総合的に理解し、身につけている。	人間の生涯と子どもについて、食生活や住生活など生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する能力を身につけている。	人間の生涯と子どもについて、食生活や住生活などに関心を持ち、生活の充実向上を目指して主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、定期テスト、提出物(ワークシート、レポート) 実技テストなどから、総合的に評価する。	以上の観点を踏まえ、提出物(ワークシート、レポート、作品) などから、総合的に評価する。	以上の観点を踏まえ、実習への取り組み状況、提出物(ワークシート、レポートなどから、総合的に評価する。
	内容のまとまりごとに、各観点「A: 十分満足できる」、「B: おおむね満足できる」、「C: 努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規程は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6	子ども	教科書 副教材 視聴覚教材 折紙、絵本等	子どもの食生活や衣生活など子どもの生活を学ぶ。 子どもの心と身体の発達について考える。 子どもの絵本制作を通して遊びの意義や課題について考える。 子どもを育む課題と解決の方向を探る。	18	授業の取り組み 提出物 小テスト 作品
7 8 9 10 11	食生活	教科書 副教材 視聴覚教材 調理用具棟	食事の意義を学ぶ。 食生活の問題点を探り、自身の食生活を考える。 栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を学ぶ。 調理実習を通して、基礎的な調理技術を学ぶ。 食品衛生・栄養・食品の知識を学び、バランスのとれた食事について計画できる実践力が身につくよう学ぶ。	32	授業の取り組み 提出物 定期テスト
8	ホームプロジェクト・学校家庭クラブ活動	教科書	生活をあらためて見直し、解決することを検討する(個人)	夏季休業中	レポート
12 1 2	住生活	教科書 副教材 視聴覚教材	生活と住まいの機能とのかかわりについて考える。 快適な住まい方を考え、平面計画を立てる。 快適な室内環境について日照、採光、通風・換気、騒音、冷暖房などの要素を学ぶ。 誰もが安全に住むための工夫を考える。 住まいとエネルギー、まちづくりなどの観点から持続可能な住まいとは何か考える。	18	授業の取り組み 提出物 定期テスト 作品
3	生活設計	教科書 副教材	家庭総合の2年間の学習を生かして自分らしい生き方を設計する。	2	授業の取り組み 提出物

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

- ・副教材の「学習ノート」の提出
- ・ワークシートの提出
- ・レポートの提出、発表
- ・作品の提出 など

8 担当者からの一言

家庭総合では、よりよい生活を送るための知識と技術を身につけ、自立するための準備として2年間かけて学んでいきます。毎日の生活や将来の実生活に活かすことができる力を身につけていきましょう。